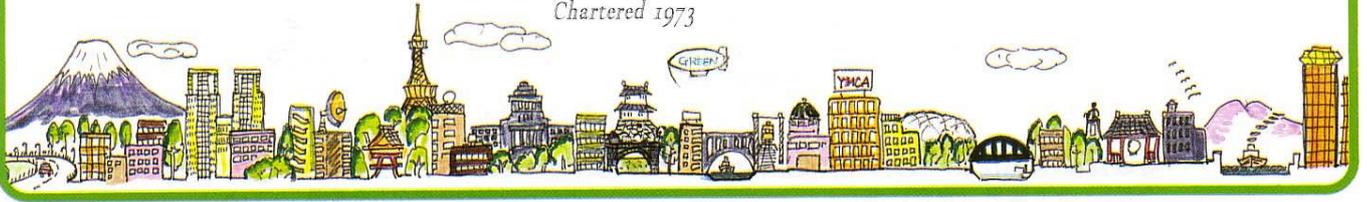




東京グリーン

Chartered 1973

〒135-0016
東京都江東区東陽 2-2-20
東京 YMCA 東陽町センター内



To Acknowledge the Duty that Accompanies Every Right

< 2024.10 >

BULLETIN

2024年7月～2025年6月

会長 樋口 順英
副会長 青木 方枝
書記 村杉 一榮
会計 小仁 恵子
監査 柿沼 敬喜
担当主事 柳原みづき

国際会長 A・シヤナヴァスカーン 「太陽の輝きと笑顔」
アジア太平洋地域会長 ジョウン・ウォン 「大きなインパクトを起こそう」
東日本区理事 山田 公平 「ワイズの方向性を見極める」
関東東部部長 山本 剛史郎 「我々は微力かもしれないが、無力ではない！」
クラブ会長 樋口 順英 「元気で楽しいのが一番！」

10月 宗教改革記念日(1517年10月31日)

思い煩いは、何もかも神にお任せしなさい。神があなたがたの事を心にかけていて下さるからです。(第一ペテロ書5章7節) *1517年10月30日は、ルターが宗教改革を始めた日、信仰こそ第1であると唱え、免罪符による救済を否定した。プロテスタントの誕生。

2024年10月例会(3クラブ合同例会)

日時:2024年10月17日(木)19:00～21:00
場所:東京 YMCA 東陽町コミュニティセンター
★進行:佐野メン、 受付:西澤メン、
開会点鐘 (東京ひがしクラブ会長) 鮎澤 正和メン
ワイズソング・ワイズの信条 全 員
会長挨拶 (江東クラブ 会長) 相川 達男メン
メンバー紹介 各クラブ会長
ゲスト、ビジター紹介(グリーンクラブ会長) 樋口順英メン
聖句・お祈り・食事(グリーンクラブ会長) 西澤 紘一メン
卓話 「渋沢栄一と東京の街づくり」
 渋沢史料館 館長 桑原 功一 様
各種報告 各クラブ会長
YMCA 報告 各クラブ担当主事
ハッピーバースデー 柿沼 澄子、高谷 禎宣メン
閉会点鐘 (グリーンクラブ会長) 樋口 順英メン

「今年もインターナショナルチャリティランが
木場公園にやってきた！」 ～書記 小仁 恵子

9月28日、前日まで雨予報で心配しましたが、競技開始の頃には晴れ間がみえるまでになりました。

今年から全国大会委員長に就任した「パリ2024 パラリンピック競泳メダリスト」の富田宇宙さんが、会場に来て下さいました。東京YMCA本部チームのランナーとして伴走者と共に走って下さいました！

富田宇宙さんは小学生から熊本YMCAの水泳教室に通い、中学・高校と水泳部に所属し、宇宙飛行士になりたいと思っていたようです。高校2年で病気を発症し24歳でパラ水泳の世界へ。コロナ禍の頃は熊本YMCAのプールで練習をするなどご縁が続いていました。

今年も子どもランでは賑やかな声を聞き、たくさんの方々の笑顔を見て元気をもらいました。

我らのチーム東陽町は6位入賞。若さ溢れる力強い走りでした！

【写真左下】表彰式後、
みんなの笑顔が一番！

【写真右下】富田宇宙さん
(黒いシャツの方)



【例会出席率】 在籍:15名 9月出席率8/13 62%

出席:9月 (メン8名、メネット0名) 計8名

【ニコニコ】 ¥12,000

◆2024年9月例会報告



日時：2024年9月18日(水) 18:00~20:30

場所：東京 YMCA 東陽町コミュニティーセンター

出席者：青木、柿沼、小仁、佐野、根本、村杉、柳原、樋口
各メン(司会進行：小仁メン)

ゲスト：堀江 和広様(元東京 YMCA, 東京 YMCA 学院)

ビジター：東進部部长 今井 武彦メン(むかでクラブ)

東京クラブ 長澤 弘メン

ひがしクラブ 沖 利柯メン

▲ 概要

EMC 強化月間にちなみ、ゲストとして元東京 YMCA 堀江和広様お招きし、江東、ベイサイドでの、長年のご尽力でご経験された、会員増強成功事例などをお伺いしました。

▲ 卓話

「みんなで楽しく、よい汗流そうよ！～会員増強～」

by 堀江 和広様(元東京 YMCA, 東京 YMCA 学院)

<要約>

(1) 江東ワイズでは、ワイズと幼稚園の保護者とのつながりをつくった。(焼き鳥とビールによるところ大きい)

またワイズサッカーを木場公園で開催し、(豚汁で)保護者とのつながりをつくり、ワイズとは何かを保護者にアピールしてきた。

(2) 「子育て講演会」では、担当主事として YMCA の意向をワイズに伝え理解を得て実現にこぎ着けた。

(3) しののめこども園設立準備にあたっては、「新しいコミュニティをつくる」ことをコンセプトとし、「保護者、地域、こども園の3者で未来の子供たちをつくること」をビジョンとした。

タワーマンション居住の方々には、横のつながりを持ちたい方が多く、保護者会がつくられた。これが東京ベイサイドクラブのベースになった。ワイズを離れた現在もビジョンは変わらず持ち続け活動している。

(4) 一般の人にワイズの働きを知ってもらうためにいっしょに汗を流して仲良しになることが大切です。

(5) 会員増強し仲間を増やすためには、「ぶれない」クラブのビジョンをつくること、その「理想の姿」を持つこと、そしてワイズを理解してもらおう努力、細かくかみ砕いてアピールする努力が大切だ。

(6) YMCA とワイズの関係について

① ワイズの活動は楽しくなければならぬ。ワイズはそれを一般の方に知ってもらう必要がある

② YMCA はワイズの活動をとくに若い人にアピールし声をかけることだ。

③ YMCA とワイズはお互いに「与える、支える」の関係(Give and Take の関係)になりたいものだ

(7) 一般の人にワイズの働きを知ってもらう、それを YMCA がやっていくことが大切だと思う。どれが正解というものではないが、やってみなければわからないことですので、まずやってみましょう、と思う。質疑応答で YMCA に輝きがなくなり、YMCA が是非リーダーとして社会で実績を残してほしい。いろいろ意見が出て盛り上がったため時間切れで終了となりました。(村杉 記)

▲ ニコニコひとこと

◆村杉一榮メン：

猛暑で、毎日歩く日課ができず、
家の中でプラプラ



◆青木方枝メン：

毎日30分カーブスのトレーニングで体調維持した

◆佐野守メン：

卓球の審判をずっとやってて、
今夏も全国大会に出場



◆長澤弘メン(東京クラブ)：

クラブ棒を越えワイワイクッキング
をやるのでご参加を。

◆今井武彦メン(むかでクラブ 2002 年入会)：

むかでは野尻キャンプ OB が作った。一時は40名いたが現在は8名と淋しい。

◆沖 利柯メン：

チャリラン青木委員長頑張ってください。感謝です。



いつもお願いばかりですが、12月8日のクリスマスオープンハウスも是非よろしく！今回は同期の堀江さんの卓話なので参加しました。

◆堀江 和広様：

地元江東区大島出身、同窓会をオリンピック年にやっていたが、毎回出席者が減ってきてそういう年齢になったのだなあと思うこの頃です。

◆小仁 恵子メン:

甲府21ファンドのブドウを申し込んだところ、大変美味しかった!



◆根本幸子メン:



植木鉢を片付けていて蜂に刺されました。今年は蜂の巣が多いそうなのでお気をつけください。

(村杉 記)

▲10月5日東進部大会アピール:今井メン、長澤メン
セミナー「エンディングノートは自分と家族への贈り物」



▲ 各種報告、各種イベントへの参加者確認

▲ ハッピーバースデー:

佐野 弘子、西澤 紘一、早瀬 仁人・弘美、各メン
東進部部長 今井 武彦メン

(樋口 記)

◆2024年9月第2例会(役員会)報告

日時: 2024年9月11日(水) 15:00~16:30 Zoom

出席者:青木、柿沼、小仁、西澤、柳原、樋口

1. 神田川船の会関係

(1) 10月2日(水)昌平小学校船上学習

参加:柿沼、樋口、青木、村杉、

9月24日(火)事前学習

(2) 10月12日(土)第90回神田川船の会

10月9日(水)は直前例会とする(東陽町)

2. 例会運営打合せ(9月、10月)

3. 11月20日(水)11月例会(東陽町)18:00~

卓話者 北沢 紀史夫 様、

(特非)ふじみ野市支え愛センター会長、高齢者及び健康を害している人の困りごとを1時間300円で手伝っている仕組みを作った。YOUTUBE「300円の奇跡」

(樋口 記)

24/25年度会費振込のおねがい

お世話様です。振込口座は下記でお願いいたします。

みずほ銀行 深川支店#446(普)3064402

名義 トウキョウグリーンワイズメンズクラブ

◆10月例会3クラブ合同例会のご案内

24年10月例会は、東京江東クラブ、東京ひがしクラブさんと3クラブ合同例会といたします。

卓話講師には渋沢栄一研究の第一人者である、渋沢史料館 館長 桑原 功一 様をお招きしました。

開催日時を下記といたしますので、お間違いのないようお願いいたします。

日時: 2024年10月17日(木)19:00~21:30

場所: 東京 YMCA 東陽町センター

卓話 「渋沢栄一と東京の街づくり」

卓話者 渋沢史料館 館長 桑原 功一氏

このたびは、東京のインフラ整備、福祉、商業教育への支援のあり方、港湾整備への意見などを通して、渋沢栄一の東京の街づくりへの関わり方や東京への思いなどにつき、やさしくお話をさせていただきます。ぜひ、お気軽にご参加ください。

講師: 渋沢史料館 館長 桑原 功一 様より、

「明治維新後、渋沢栄一は、新しい時代にふさわしい首都・東京の街づくりに関わっていきます。栄一がどんな活動をして、どのような東京にしようとしたのか、東京への思いをみていきます。」

◆講師 プロフィール



【略歴】1969年5月生まれ、55才、東京都出身

明治大学大学院博士前期文学研究科史学専攻修了。

1995年足立区立郷土博物館専門員

2003年呉市海事歴史科学館(大和ミュージアム)学芸員

2008年より公益財団法人渋沢栄一記念財団渋沢史料館学芸員。同館副館長を経て、現在、同館館長。

◆同館で担当した展覧会は、企画展「澁澤倉庫株式会社と渋沢栄一~信ヲ万事ノ本ト為ス~」、企画展「私ヲ去リ、公ニ就ク~渋沢栄一と銀行業~」等。

◆著作に『渋沢栄一 日本近代の扉を開いた財界リーダー』(宮本又郎編、共著、PHP 研究所、2016年)等。

【趣味など】城跡、史跡めぐり、銭湯めぐり

(樋口 記)

◆今後の主なスケジュール

1) 10月12日(土) 第90回神田川船の会

2) 10月17日(木) 10月例会(東陽町)19:00~

3) 10月19日(土) 関東東部部大会(川越)

4) 11月13日(水) 11月第二例会(Z)15:00~

5) 11月20日(水) 11月例会(東陽町)18:00~

6) 12月 8日(日) クリスマスオープンハウス

ブリテン図書館

「52ヘルツのくじらたち」
町田その子著 中央公論新社刊行
(2021年度 本屋大賞受賞作品)



昨今、普通の子供たちと交われない変り者と呼ばれる社会から遊離された子供の話題が多い。

現在の日本社会はこのような弱者を受け入れ、共に生きるという寛容さをすっかり無くしてしまったようだ。さらにヤングケアラーなる保護されるべき子供

たちが親の面倒を見ると言う逆転の悲劇も少なくない。

主人公の三島貴瑚(みしま きこ)は、母親から虐待を受け、その上、寝たぎりの義理の父親の世話まで強制されていた。しかもその父親さえ貴瑚を常に罵倒する始末。救いは、高校時代の友人である美晴との出逢いであった。美晴の友人でもあるアンさんが親身になって貴瑚を心配してくれ、地獄のような家庭から引き剥がしてくれた。そして、彼女はむかし可愛がってくれた祖母を訪ねて大分の海に近い古い家を見つけた。祖母はすでに亡くなっていたので彼女1人で住み始めた。

少しずつ田舎暮らしにも慣れて来た頃、貴瑚は一人の少年と巡り合う。彼は、村人から「ムシ」と呼ばれて皆から無視されており、母親からも虐待を受けて、自分の言葉を失っていた。

貴瑚は、彼の孤独を慰め言葉を取り戻せるように接するが、次第に貴瑚自身も彼に救われてゆくことを知る。あたかも2人だけに通じる言葉があったように。

クジラは、10-30ヘルツの周波数で群れ同士会話すると言われている。その群れの中に52ヘルツの周波数で歌うクジラが居た。彼は、生涯ほかのクジラとの対話をすることなく孤独な生涯を終えるそうだ。貴瑚もまさにこの52ヘルツの声を待つクジラであったが「ムシ」と呼ばれる少年も同じ52ヘルツを持っていることを知り、彼との交流を通して2人の間に信頼が醸成されてゆく。

救いのない物語であるが、現在の殺伐とした日本社会の縮図を見ているようで、いたたまれない。それでも読後は、何となく癒され、ほっとするエンディングである。

(西澤 記)

YMCA コーナー

1. 9月8日～11日、「日韓YMCA連絡委員会」が韓国のソウルで開催され、東京YMCA松本数実氏(国際・教育事業部統括)と渚上舞子氏(にほんご学院校長)を含め、全国YMCAから15名が参加した。日韓YMCA交流活性化のための情報共有や協議の他、韓国YMCA連盟110周年の式典にも出席した。
2. 9月21日～22日の石川県能登地方の記録的豪雨により、東京YMCAが1月の震災後避難所運営支援を行ってきた輪島市町野町も大きな被害を受けている。今後全国のYMCAが協力し、現地視察の上で、支援活動について検討していく。また「2024年9月能登半島豪雨緊急支援募金」を開始した。
3. 9月28日、「第38回東京YMCA国際・チャリティーラン2024」が都立木場公園で開催された。企業・団体・東京YMCA各部署など41チームがエントリー。当日は、全国YMCA国際・チャリティーラン委員長で、パリ2024パラリンピック競泳メダリストでもある富田宇宙氏も参加した。益金は、東京YMCA及び全国YMCAで実施される障がいのある子どもたちを支えるプログラムのために用いられる。
4. 今後の主な行事予定
 - 1) 「東京YMCA高等学院10周年+1記念コンサート」10月4日(日本基督教団霊南坂教会)
 - 2) 「国際協力一斉街頭募金」11月2日(新宿駅周辺)
 - 3) 「YMCA・YWCA合同祈祷週礼拝」11月14日(東京YWCAカフマンホール)
 - ・メッセージ:堀 光雄牧師(東京YWCA、在日本韓国YMCAと共催)
 - 4) 「第23回日本YMCA大会」11月15日～17日(YMCA東山荘)
 - ・大会テーマ:「Link!～[私]、YMCA、世界、そして未来～」
 - 5) 「第26回愛恵エッセイ」11月15日まで作品募集(愛恵福祉支援財団との共催)
 - ・テーマ:豊かな福祉社会を創るために一戦後80年になるんだって!?
 - 6) 「賛助会年会・アドバイザー会」11月26日(学士会館) (クラブ担当主事:柳原 記)